

令和7年第1回清瀬市教育委員会定例会会議録

令和7年第1回清瀬市教育委員会定例会が令和7年1月29日(水)午前9時30分に招集された。
出席委員、議事の概要は次のとおり。

- 1 日 時 令和7年1月29日(水)午前9時30分
- 2 場 所 庁議室 (対面)
- 3 付議案件 別紙議事日程のとおり
- 4 出席委員 坂 田 篤 (教育長)
宮 川 保 之 (教育長職務代理者)
尾 崎 啓 子 (委員)
鈴 木 美 紀 (委員)
中 村 清 人 (委員)
- 5 事務局 南 澤 志 公 (教育部長)
大 島 伸 二 (教育部参事兼教育指導課長)
大 野 英 武 (教育企画課長)
宮 野 将 史 (教育指導課教育支援担当課長兼統括指導主事)
山 口 由 希 (図書館長)
久 保 敦 (指導主事)
横 井 路 彦 (指導主事)
太 田 裕 作 (教育企画課企画係長)
- 6 書 記 若 野 俊 佑 (教育企画課主事)

令和 7 年第 1 回清瀬市教育委員会定例会

令和 7 年 1 月 2 9 日（水）
庁議室（対面実施）

定例会

- 日程第 1 会議録署名委員の指名（中村委員）
- 日程第 2 教育長報告
- 日程第 3 教育委員報告
- 日程第 4 議案事項 1 清瀬市学校運営協議会設置について
- 日程第 5 報告事項 1 「清瀬市立中学校部活動の地域連携・地域移行
に向けた推進計画」中間まとめについて

その他

開会

坂田教育長が開会を宣言

日程第1 会議録署名委員の指名（中村委員）

中村委員を指名

日程第2 教育長報告

坂田教育長 東京都の教職員表彰で第七小学校の主幹教諭が表彰され、また、児童・生徒表彰では、陸上競技への取り組みが認められて清瀬中学校の生徒が表彰された。

第八小学校A訪問に参加した。優れた授業がある一方、それが横展開されていない現状があり、改善をするよう指導した。6年生が取り組んでいた200字作文は優れた取組であると評価する。ただし、こちらも6年生だけでなく、他学年に波及させていく必要があり、そのためには経営者の意識を変えることが不可欠だ。

第八小学校の特徴は学力調査からすると、非認知能力（自己肯定感）が向上しており、先生や家庭の指導が起因していると考ええる。しかし、家庭学習の習慣について身についていない。文科省が示す、令和の日本型学校教育の実現のため、家庭との連携は必須であり、市としても何らかの手を打っていく必要がある。

今後、A訪問の成果検証をする必要がある。学校へフィードバックした内容が、如何に日常の教育活動に活かされているかを検証する必要があるのではないか。

命の教育フォーラムは二部制で実施したが、第一部では三小児童から「命をつなぐ」をテーマに、地域の方と一緒に取り組んでいるヤギ飼育の紹介や、学年交流やホロコースト等の学習が行われていた。

第二部については、生徒が「安心できる学校づくり」について大勢の大人の前で堂々と発信していた。高く評価したい。その取り組みが学校の質的向上につながっている。これは1学校ではなく、全校への横展開を進めるべきだ。生徒たちの発信を単に情報共有と捉えるのではなく、社会に対して意見を発表する場として大事にしていきたい。

最後に、立科町の教育長を訪問した。連携を一層深め、発展させていきたいと協議した。その取り組みの一つとして、命の教育フォーラムを立科町とオンラインにより協働して実施できないか検討したい。自治体連携については教育大綱、次期マスタープランに取り入れていきたい。教育大綱の策定過程においては、各校の生徒会との懇談会を実施し、意見を抽出できるような取り組みを検討していきたい。

日程第3	教育委員報告
------	--------

- 中村委員 第八小学校のA訪問に参加した。先生が課題資料について GIGA 端末を用いて児童へ展開し、児童が実施した内容を先生が集約して画面に提示する。そしてそれについて子供たち同士で話し合うといった協働的な学びが進められていた点が印象的であった。ただし、GIGA 端末やノートを置くと机が小さいと感じた。
- 尾崎委員 第八小学校のA訪問に参加をした。掲示がすっきりしていて、学習環境が整っている。気になった点は、授業の「めあて」と授業内容がずれている感じがあった。午後の議論では、学校支援本部のコーディネーターとも議論ができ、保護者の視点や地域との協働について具体的に話し合うことができた。
- 鈴木委員 子ども・子育て会議に参加した。第七保育園の改築に際し、病児保育も進めていきたいといった議論があった。
- 長期総合計画策定委員会に参加した。事務局から基本理念の8案が示され、委員24名が10年後を見据え、真摯に議論ができた。今後事務局が意見をまとめていくと伺っている。
- 命の教育フォーラムに参加した。子供たちの姿に感激した。しかし、同時に、命の教育週間の資料については昨年度の踏襲が目立つ。伝統を継承していくことは大切だが、次にどうしていききたいといった考えが必要であるとする。今年ならではの取組をしっかりとまとめてほしい。様式を変更するだけでも変わっていく。
- 第四小学校の校内研究に参加した。第四小学校は書く力を研究テーマにしている。普通であれば国語の授業内で取り組んでいく内容であるが、図工の授業で取り組んでいた。芸術と言語を行き交わす学校独自の取組として評価したい。
- 坂田教育長 命の教育フォーラムについては、いじめは良くない、人を助ける等のKPI（重要指標）をどこに置くか、そして改善点に対するPDCAを回していく必要があると感じている。
- 宮川職務代理 17日、清瀬中学校の作品展に参加した。どの作品も熱意を感じる素晴らしいものであった。
- 第八小学校のA訪問に参加した。学力調査結果のSP表をもっと活用分析しなくてはならない。無答が少ない傾向にあることは、自己肯定感との関連性があることが伺える。その他にNIE（新聞を教材として活用すること）という取り組みとして、高学年には長い文章を書いて小説をつくる子供もいた。学びの動機付けにつながる。
- 教員によって学級経営の考え方が異なる。授業の狙いを行動目標として、絶対評価するならば、目標基準を明確にしないといけない。
- 1月12日に「20歳のつどい」に参加した。新成人一人ひとりが、自身が成人であるということをしっかりと認識していた。

日程第4 議案事項1号 清瀬市学校運営協議会設置について

大島教育部参 (提案理由を説明)

事 本件が可決されれば、市内全校に学校運営協議会が設置されることになる。

宮川職務代理 地域の中で幅広く多様な人材を求めていると思うので、地域との関りを求めていくために、人選のプロセスの透明化を推し進めていく必要がある。

坂田教育長 ここで決を採りたい。

(全会一致)

全員異議なしと認め、議案事項1号は可決された。

日程第5 報告事項1 「清瀬市立中学校部活動の地域連携・地域移行に向けた推進計画」中間まとめについて

非公開につき、割愛とする。

閉会

坂田教育長が閉会を宣言

閉会 午前11時20分

令和7年1月29日

上記のとおり会議の顛末、大要を記し相違ないことを証する。

清瀬市教育委員会

教 育 長

教 育 委 員